

VI 職場や仕事についての意識

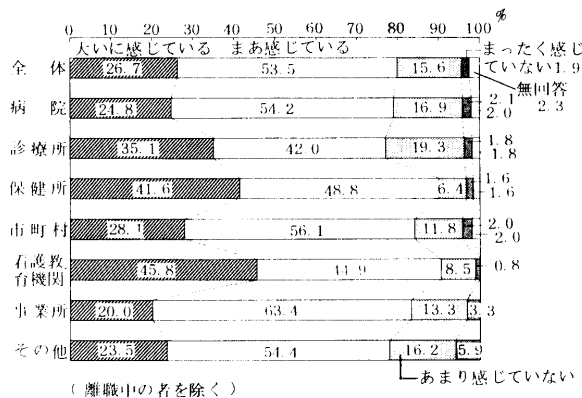
協会活動は、現場での色々な思いと密接につながってこそ会員にとって身近に感じられるといえよう。そこで現在の職場や仕事について、会員が日頃どのように考えているかを聞いた。

1. 仕事のやりがい

日々の仕事にやりがいや面白さを感じて初めて看護職としての誇りや充実感を持つことができると思われる。そして、看護職としての肯定的な自覚があって、職能団体活動への積極的な参加もありうると考えられる。

そこで、会員が、今の仕事にやりがいや面白さを感じているかを聞いたところ、会員の8割はやりがいや面白さを感じていた<図30>。

図30 勤務場所別仕事のやりがい感

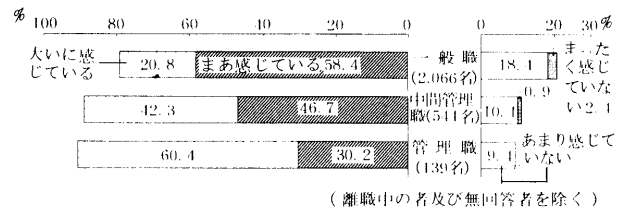


職位別にみると、職位が上がるほど「大いに感じている」人が多くなる<図31>。一般職（非管理職）と中間管理職を比較しても大きく違うことから、主任・婦長・係長などになった段階でやりがいや面白さが増すものと思われる。

また、業務・勤務場所別にみると、看護教育者、

保健所保健婦にやりがいや面白さを強く感じる人が多い。

図31 職位別仕事のやりがい感



管理職、保健所保健婦、看護教育者は、協会活動への参加が活発であったことと一致する。

2. 看護職員数と業務量

業務量に人員が見合っていると考えているかどうかを次のように聞いた。

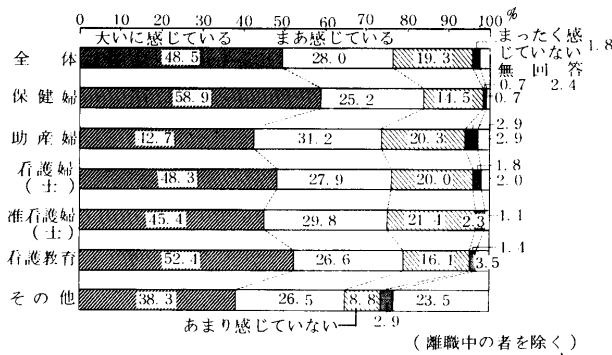
「あなたは職場で、看護職員数に比べ業務量が多いと感じていますか」

半数近くの会員が、「大いに感じている」と答えた<図32>。「まあ感じている」も加えると、看護職の8割近くが看護職員数と業務量がつり合っていないと考えている。

業務・勤務場所別にみると、保健婦の内でも保健所勤務者はこの不釣り合いを「大いに感じている」人が多い。

職位による違いはみられなかった。つまり、一般職も管理職も同じように不釣り合いを感じることがわかった。

図32 「あなたは職場で、看護職員数に比べ業務量が多いと感じていますか」



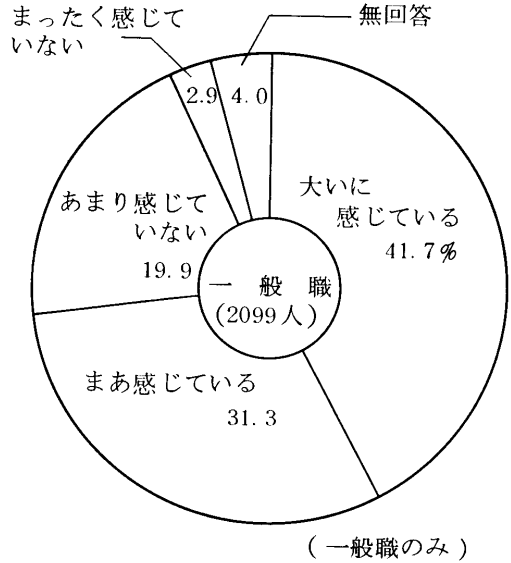
ただし、当面の解決方法を、看護職員数の増員という方向で考えるか、業務量の調整という方向で考えるかまでは把握していない。

3. 患者・家族と接する時間が短いと感じているか

看護業務の多くは人を相手にする仕事であるので、患者や家族と接する時間が短いと感じるということは、一般には、もっと長い時間接したいという願望を含んでいる。このことは、看護職員不足という認識と密接に関係するものと思われる。

中間管理職以上、教育関係者など職位や仕事の種類によっては、仕事の性質上、家族と接する時間が短くなることもある。そこで、一般職についてどう感じているかをみると、4割以上の会員が、「看護サービスの対象者と接している時間が短い」と「大いに感じている」(図33)。

図33 「あなたは職場で患者や家族などと接している時間が短いと感じていますか」



4. 看護業務は他職種に理解されていると思うか

現在看護職のほとんどは、他職種と一緒に働いているが、他職種が看護のことを理解してくれないという嘆きの声をよく聞く。これは、他職種との連携・業務分担がうまくいかない場合に感じられ、もっと理解して協力してほしいという願いを含んでいると考えられる。

結果は、理解されていないと感じている会員が多かった(表53)。

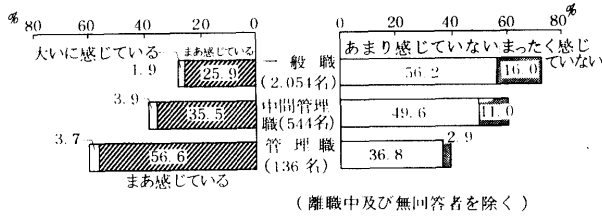
表53 「あなたの職場では、他職種が看護業務のことをよく理解していると感じていますか」

よく理解していると感じているか	会員数	(%)
大いに感じている	64	(2.2)
まあ感じている	827	(28.6)
あまり感じている	1,515	(52.5)
まったく感じている	398	(13.8)
無回答	85	(2.9)
計	2,889	(100.0)

(離職中の者を除く)

しかし、職位別にみると違いがあり、管理職は理解されていると感じる人が多い<図34>。管理職ほど、他職種との調整の任にあたる事が多く話し合う機会が多いので、実際調整してみると、理解しあえたということなのであろう。

図34 「あなたの職場では他職種が看護業務のことをよく理解していると感じていますか」



5. 職場での人間関係

職場の上司や同僚との人間関係がうまくいっているか聞いたところ、多くの会員が「うまくいっている」と思っていることがわかった<表54>。

表54 「職場の上司や同僚との人間関係がうまくいっていますか」

人間関係	会員数 (%)
うまくいっている	568 (19.7)
まあうまくいっている	1,869 (64.7)
あまりうまくいっていない	340 (11.8)
まったくうまくいっていない	50 (1.7)
無回答	62 (2.1)
計	2,889 (100.0)

(離職中の者を除く)

6. 現在行なっている看護業務の満足感

若い会員は、「あまり満足していない」者が多いが、年輩の会員ほど「まあ満足している」人が多い<表55><図35>。若い人ほど、現状に満足しないというのは一般的傾向だと考えられるが、看護職の場合も例外ではないということであろう。そして、若い人は満足のいく仕事ができるように職場を変える手段・権限をもっていないことを、管理職は十分考える必要があるだろう。

表55 全体として、あなたが現在行なっている看護業務に満足していますか

業務の満足感	会員数 (%)
大いに満足している	77 (2.7)
まあ満足している	1,113 (38.5)
あまり満足でない	1,336 (46.2)
不満に思っている	280 (9.7)
無回答	83 (2.9)
計	2,889 (100.0)

(離職中の者を除く)

図35 年齢別看護業務の満足感

